

【研究概要】

上部消化管内視鏡で非びらん性胃食道逆流症（NERD）は従来の白色光内視鏡観察（WLI）で微小変化病変（MCL）を検出することは困難である。LCI（Linked Color Imaging）は独自の色彩強調を行う画像強調内視鏡で一般的に内視鏡観察・治療時使用されており、MCLの検出にも有用と考えられている。しかし、既報ではLCIの有用性が客観的に評価されていないため一般化するには疑問が残る。逆流症状の患者に対してLCIを用いた適切なNERD患者の微小変化病変におけるLCI観察の有効性を検討する。